

(5)生涯学習：生涯学習の充実

村が考える住民の皆さまの幸せのかたち

「自身が求める活動機会が用意される」

施策の目的

文化協会等の活動を支援しつつ、住民ニーズを捉えた、誰もが活躍の機会がある村を目指します。

現状を踏まえた課題

- ・時代の変化や住民の要望に合わせた講座の開催および内容の見直しとともに、参加しやすい時期・時間の検証、効果的な広報のあり方に対する検討等が必要です。
- ・多様化する住民ニーズに応えた活動機会が提供され、住民それぞれが興味を持つ分野で学習を進め、それぞれが活躍できる村を実現します。

▶取り組みの体系

【生涯学習】 生涯学習の充実	ニーズに合った講座の開催
	村内イベントの充実
	若年層にターゲットを絞った取り組みの展開
	住民の情報機器操作能力（情報リテラシー）の向上
	新規会員の計画的な募集

主な取り組み

① ニーズに合った講座の開催

対象ごとに内容や開催日程を検討するとともに、ホームページ等を用いた広報とすることで、さまざまな世代が参加しやすい講座を開催します。

② 村内イベントの充実

夏まつりやふるさとフェスタ等のイベントの充実を図ります。

③ 若年層にターゲットを絞った取り組みの展開

村内企業と連携を深め、次世代を担う人材の育成に取り組みます。

④ 住民の情報機器操作能力（情報リテラシー）の向上

住民に向けたスマートフォン教室を開催し、住民の情報機器操作能力（情報リテラシー）向上に取り組めます。役場 DX 化に対応した、自治体アプリの活用に努めます。

⑤ 新規会員の計画的な募集

文化協会等の活動を助成しつつ、計画的な新規会員の募集を支援します。

計画指標	基準値 (令和 3 (2021)年度)	目標値 (令和 9 (2027)年度)
① ニーズの把握回数 ・令和 9（2027）年度までに講座のニーズ調査を実施し、以降、年 1 回の頻度で調査を実施し、講座の展開に反映させます。	—	年 1 回
② 村内イベントの参加者数 ・令和 3（2021）年度の実績（年 2,000 人）を令和 9（2027）年度には 150%（3,000 人）増やすことを目標とします。	年 2,000 人	年 5,000 人
③ 村内企業と連携した講座回数 ・令和 9（2027）年度までに村内企業と連携した講座を開催し、以降、年 1 回の頻度で実施します。	—	年 1 回
④ スマートフォン教室の実施 ・令和 9（2027）年度までに実施し、以降、年 1 回の頻度で実施します。	—	年 1 回
⑤ 文化協会の会員数 ・令和 3（2021）年度の実績（既存会員 414 人）から令和 9（2027）年度には会員数を 450 人とすることを目標とします。	既存会員 414 人	会員数 450 人

住民・行政の協働に向けて

▶**行政**：各種講座等の充実・発信に取り組みつつ、生涯学習を通じた交流を呼びかけます。

▶**住民**：講座やイベントへ積極的に参加します。